

COVID-19

HMB

Manual

HANDMADE BICYCLE 2024

COVID-19感染対策マニュアル



**HANDMADE
BICYCLE 2024**

■はじめに	
本マニュアルの目的	3
用語の定義	3
■HMB開催におけるCOVID-19 対策ガイドライン	
HMB開催における対策事項	5
開催期間中の注意点まとめ	7
開催中止の判断基準	7
■感染対策チーム	
組織体制図	8
■感染対策連絡先一覧	
感染対策担当者	9
会場近辺の医療機関位一覧	9
■会場における検温体制	
感染対策ブース（検温テント）の概要	10
会場内ブース配置図	11
■会場設置注意喚起看板	
注意喚起看板	12
■感染疑い発生時の対応フロー	
感染疑い発生時の対応フロー	13
■感染対策備品リスト	
感染対策備品リスト	14

本マニュアルの目的

●目的

2019年末に発生し、全国に拡大したCOVID-19は社会的に大きな影響を与え、「3密の回避」「マスクの着用義務」等、人々の生活を一変させました。発生から3年半が過ぎた2023年5月に、世界保健機関（WHO）はCOVID-19に関する「緊急事態宣言」を終了とし、日本政府もCOVID-19を季節性インフルエンザと同様の「5類」へ移行しました。

ハンドメイドバイシクル展2024は、「5類」に移行してから初めての開催となるが、本マニュアルは、安心・安全なイベント開催を実現するため、COVID-19の基礎知識を改めて整理するとともに、イベント実施時の感染予防対策を明確に示し、最大限リスクを低下させることを目的としています。

また、万が一、イベント実施時にCOVID-19陽性者が発生した場合は、迅速かつ的確な対応を行うためのツールとなるよう、適宜アップデートを行うものです。

用語の定義

● COVID-19

「COVID-19（SARS-CoV-2）」はコロナウイルスのひとつです。コロナウイルスには、一般の風邪の原因となるウイルスや、「重症急性呼吸器症候群（SARS）」や2012年以降発生している「中東呼吸器症候群（MERS）」ウイルスが含まれます。

ウイルスにはいくつか種類があり、コロナウイルスは遺伝情報としてRNAをもつRNAウイルスの一種（一本鎖RNAウイルス）で、粒子の一番外側に「エンベロープ」という脂質からできた二重の膜を持っています。自分自身で増えることはできませんが、粘膜などの細胞に付着して入り込んで増えることができます。

ウイルスは粘膜に入り込むことはできますが、健康な皮膚には入り込むことができず表面に付着するだけと言われています。物の表面についたウイルスは時間がたてば壊れてしまいます。ただし、物の種類によっては24時間～72時間くらい感染する力をもつと言われています。

手洗いは、たとえ流水だけであったとしても、ウイルスを流すことができるため有効です。石けんを使った手洗いはコロナウイルスの膜を壊すことができるので、更に有効です。手洗いの際は、指先、指の間、手首、手のしわ等に汚れが残りやすいといわれていますので、これらの部位は特に念入りに洗うことが重要です。また、流水と石けんでの手洗いができない時は、手指消毒用アルコールも同様に脂肪の膜を壊すことによって感染力を失わせることができます。

● 隔離

症状のある人や感染者を他の人から隔離し、感染や汚染の広がりを防止するものです。

● フィジカル・ディスタンス

感染予防に特化した言葉で、テレワークや人数制限、人と人との十分な間隔を空けるといった「感染拡大の防止に向けて身体的・物理的距離の確保」を指します。

用語の定義

●感染確認に使用される検査

COVID-19を診断するための検査には、PCR検査、抗原定量検査、抗原定性検査等があり、いずれも被検者の細胞内にウイルスが存在しているかどうかを調べるための検査です。

(1)核酸検出検査

ウイルス遺伝子（核酸）を特異的に増幅する PCR（polymerase chain reaction）法が用いられます。検体中に遺伝子が存在しているか否かを定量的に確認する方法として、リアルタイム RT-PCR、簡便かつ短時間で結果判定ができる核酸検出方法として、LAMP（loop-mediated isothermal amplification）法や TMA（transcription mediated amplification）法等、等温で反応が進む簡易法が開発されています。

○リアルタイムRT-PCR

リアルタイム RT-PCR は定量法で、ウイルス量の比較や推移が評価でき、コピー数が推定できること等から信頼性が高いです。

○リアルタイムRT-PCR 以外のLAMP法、TMA法等の等温核酸増幅法

LAMP法やTMA法等は、COVID-19（SARS-CoV-2）遺伝子の検出までの工程が短縮され一定温度で実施可能な遺伝子検出法です。リアルタイムRT-PCRと比較して感度は落ちますが実用範囲で、反応時間が35～50分程度と短いといった利点があります。

○NEAR法

等温核酸増幅法（NEAR法- Nicking Enzyme Amplification Reaction）はCOVID-19の遺伝子を増幅して検出することで感染の有無を判断する検査であり、PCR検査の一つです。迅速に結果を得ることができ、医療機関でも多く導入されています。

(2)抗原検査

SARS-CoV-2の構成成分である蛋白質を、ウイルスに特異的な抗体を用いて検出する検査法です。核酸検出検査と同様に陽性の場合にはウイルスが検体中に存在することを示します。抗原検査には、定性検査と定量検査があり、抗原定性検査は有症状者においてウイルスの抗原を検出し、診断に導く検査であり、症状発症から9日目以内の症例では確定診断として用いることができます。

無症状者に対する抗原定性検査は、リアルタイム RT-PCR 法等と比較し感度が低下する可能性があるため、確定診断として用いることは推奨されません。

抗原定量検査は、専用の測定機器を用いてウイルス抗原の量を定量的に測定することができます。検査に抗原と抗体反応のウォッシュ過程があり、特異度も高く、感度も簡易な核酸検出検査と同レベルであり、無症状者に対する唾液を用いた検査に使用可能なことが示されているため、空港検疫等でも活用されています。

HMB開催におけるCOVID-19 対策ガイドライン

本ガイドラインは、ハンドメイドバイシクル展（以下「HMB」）を開催するにあたり、関係者・来場者におけるCOVID-19拡大防止、リスク軽減のための対策について、各機関の提言等を参考にHMB開催に特化し、作成したものです。HMBに参加する皆様には、本ガイドラインに沿った予防対策を必ず実施いただくよう、お願いいたします。

なお、イベントの開催に際しては、日本政府（厚生労働省、スポーツ庁、日本スポーツ協会、JOCなどを含む）ないしは、開催地の都府県の方針に従うことが大前提となります。また、イベント出展・運営に伴う移動等に関しては、国土交通省・観光庁等、関連する諸機関の指針に準拠します。

〈参考資料〉

○公益財団法人日本自転車競技連盟

「緊急事態宣言解除後の大会開催に向けたガイドラインについて」

https://cutt.ly/JCF_guidelineaboutcovid-19

○国土交通省

「新型コロナウイルス感染症に関する国土交通省の対応」

https://www.mlit.go.jp/kikikanri/kikikanri_tk_000018.html

○厚生労働省

「新型コロナウイルス感染症について」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

○厚生労働省

「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）病原体検査の指針」

<https://www.mhlw.go.jp/content/000788513.pdf>

HMB開催における対策事項

1. HMB全体の対策事項

- (1) 感染対策チームの設置、帯同
- (2) HMBホームページにおいて関係者・来場者に向けた本ガイドラインの掲載及び周知
- (3) 開催当日に体調が悪い場合は、主催者に連絡の上、来場しない
- (4) 関係者は、イベント終了後1週間は各自の体調変化に留意し、発熱や体調不良等の症状が表れた場合は、主催者に申告
- (5) イベントで規定された関係者は、会場入り後速やかに抗原検査（定性または定量）を実施し、陰性を確認
- (6) 感染者発覚後のプロセスの明確化
- (7) 会場の各所に、手指消毒液及び感染防止対策注意喚起看板を配置
- (8) イベント会場や公共の場におけるウイルスや飛沫が付着した可能性があるゴミ類（マスク、ティッシュペーパー、紙類、ペットボトル等飲食に使用した容器や包装、カトラリー等）の放置・廃棄禁止、密閉の上、持ち帰りを徹底
- (9) 会話が発生する場所では飛沫防止パネルを設置する。

HMB開催における対策事項

1. HMB全体の対策事項

(10)以下に該当する方は、イベントへのいかなる参加（会場への来場合）も不可とする

- ①イベント当日に、下記a～dを含む体調不良のある方
 - a. 体温37.5°C以上
 - b. 強い倦怠感
 - c. 感冒様症状（咳、咽頭痛、息苦しさ等）
 - d. 味覚、嗅覚異常などの異変がある
- ②PCR、LAMP、抗原検査受診結果が陽性で、下記に該当する方
有症状で、発症日から7日未満、かつ症状軽快後48時間以内

* 無症状病原体保有者では、再検査で陰性を確認できない方は、参加について医師に相談

感染対策チーム問合せ先

不明点があれば感染対策チームへお問合せください。

<感染対策チーム問合せ先>

所属		担当者名	連絡先
感染対策チーム 全体コーディネーター	(株)ピースフル	福島 圭介	Mail: fukushima@peaceful-hp.com TEL : 090-6156-1313
		山脇 敬義	Mail :yamawaki@peaceful-hp.com TEL : 080-9827-2547 ★当日の連絡先
感染対策チーム 運営責任者	(株)ルーツ・スポーツ・ ジャパン	山本 美空	Mail :yamamoto.misora@roots-sports.jp TEL:080-3600-6172

●注意点（関係者、参加者）

- ・会場ではマスクの着用を推奨いたします。
- ・咳エチケット、こまめな手洗いにご協力お願いします。
- ・手指消毒液を配置しております。適宜ご使用ください。
- ・発熱などの風邪症状が見られる方や、体調が優れない方は、ご来場をお控えください。

●注意点（関係者）

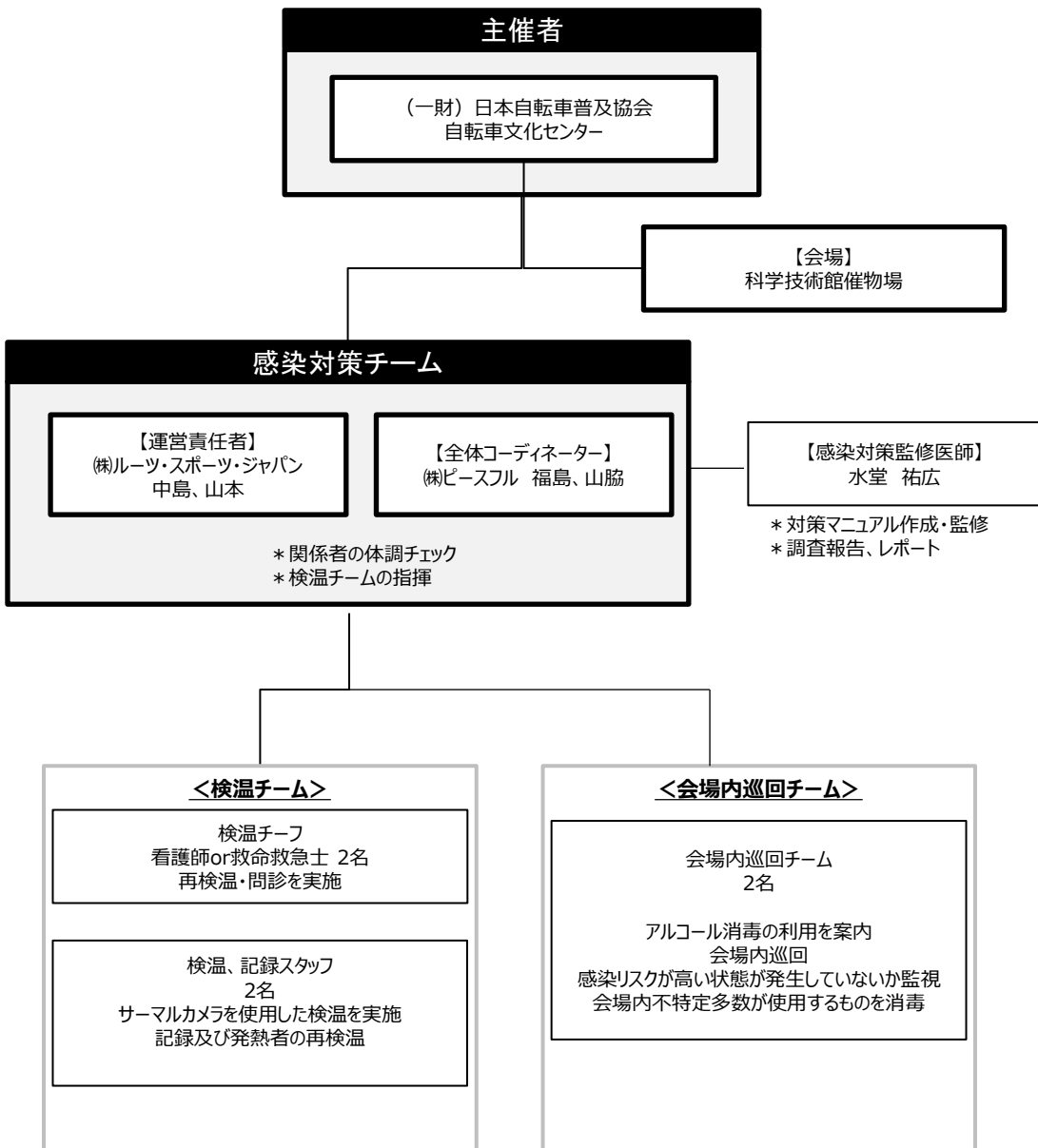
- ・開催当日に体調が悪い場合は、主催者に連絡の上、来場をお控えください。
- ・イベントで規定された関係者は、会場にて「抗原検査」をお渡ししますので、速やかに抗原検査（定性または定量）を実施し、陰性を確認してください。万が一、陽性だった場合は、感染対策チームまでご連絡ください。

開催中止の判断基準

1. 日本政府または開催地域の東京都、千代田区の自治体より、イベントの延期、自粛、中止要請が発令された場合。
2. 会場の科学技術館から延期、自粛、中止要請が発令された場合。
3. 開催期間中に関係者及び来場者内でCOVID-19のクラスター感染が発生した場合。
4. その他、イベントを中止せざるを得ない事象が発生した場合。

以上、延期はしないものとする。

組織体制図



感染対策担当者

所属		担当者名	連絡先
感染対策チーム 全体コーディネーター	(株)ピースフル	福島 圭介	Mail: fukushima@peaceful-hp.com TEL : 090-6156-1313
		山脇 敬義	Mail :yamawaki@peaceful-hp.com TEL : 080-9827-2547 ★当日の連絡先
感染対策チーム 運営責任者	(株)ルーツ・スポーツ・ ジャパン	山本 美空	Mail :yamamoto.misora@roots-sports.jp TEL:080-3600-6172
主催者	(一財)日本自転車普及 協会	村山 吾郎	Mail: murayama@jifu.jp TEL:090-4076-8844

会場近辺の医療機関一覧

下記は開催期間中受入可能な医療機関ではなく、感染疑い者の診察実績のある医療機関です。受診をする場合は医療機関へ向かう前に感染対策チームから連絡して確認をします。

	時間	電話番号	左記以外	電話番号
東京都発熱相談センター 東京都／東京都福祉保健局	24時間 (土日祝含む毎日)	03-5320-4592	—	—

感染対策ブース（検温テント）の概要

●使用機材

会場入り口にて、感染対策ブース（検温テント）を設置し、希望者が検温できる環境を整えるとともに、医療従事者の配置を行い健康相談、体調不良者への対応を行える体制とします。

検温で 37.5°C 以上を計測した場合には、体温計および問診票を使用して再検温を行います。

サーモグラフィーカメラを使用して通過する来場者の検温を実施します。

また、手指消毒液も用意し、手指消毒を促します。

●人員配置

感染対策ブースには検温スタッフを2名配置し検温数の記録を行います。

また、チーフ（医療従事者）を1名配置し、37.5 以上を計測した場合に再検温及び体調等の問診を実施して感染の疑いがないかを判定します。

そして、会場内には感染防止対策会場スタッフが巡回し、手指消毒液の利用を案内、感染リスクが高い状態が発生していないかを監視します。

●検温フロー

検温および再検温では以下のフローに従って入場の可否を判断します。

<入場可能>

検温所 37.4°C 以下

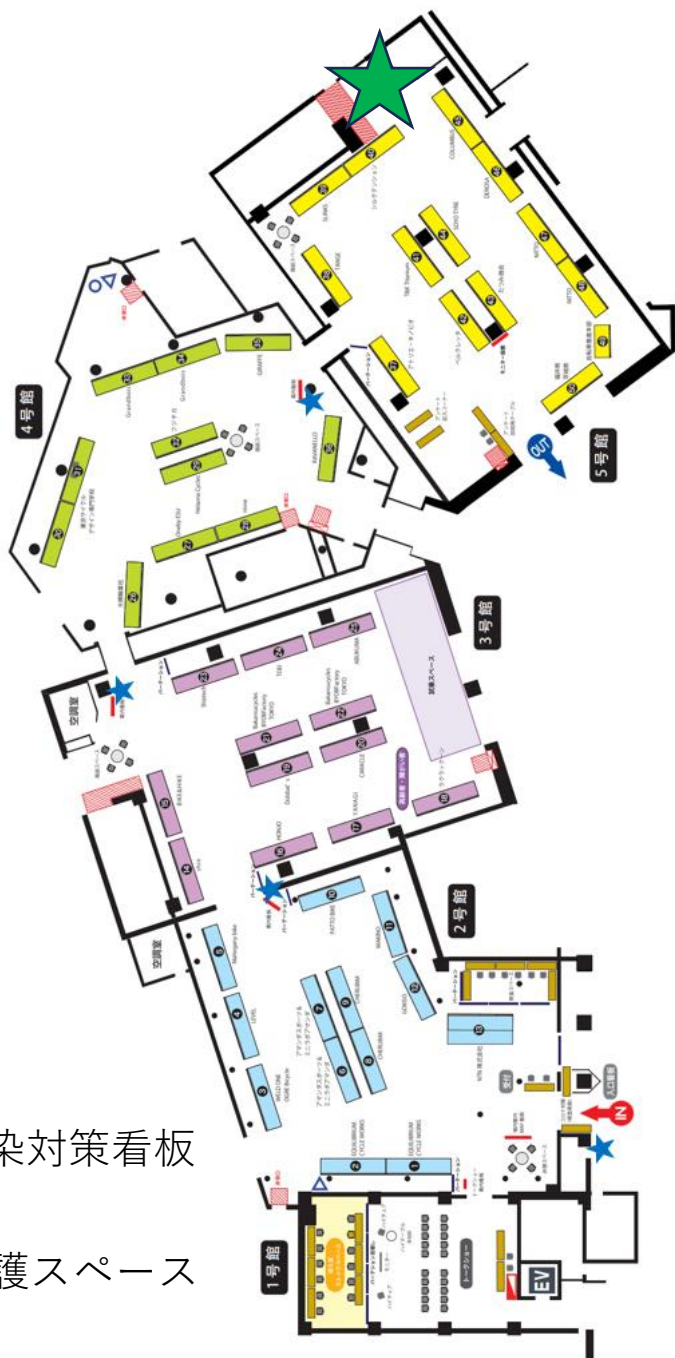
検温所 37.5°C 以上 再検温 37.4°C 以下 問診結果問題なし

<入場不可>

検温所 37.5°C 以上 再検温 37.4°C 以下 問診結果問題あり

検温所 37.5°C 以上 再検温 37.5°C 以上

会場内ブース配置図



★ = 感染対策看板

★ = 救護スペース

■感染対策ブース 4枚

感染予防対策実施中



マスク推奨



手指消毒



ゴミの持帰り

体調が悪くなった場合は、速やかに帰宅しましょう。
ご理解とご協力をお願いいたします。



**HANDMADE
BICYCLE 2024**



この事業は競輪の補助を受けて実施いたします。

発熱者・感染疑い(疑似症者)発生時の緊急対応フロー

発熱者・コロナ疑似症者発生

感染対策チームと主催者は、体調不良者が出た時点で、随時情報共有を行う。また、対象者の個人情報を取得する。

感染対策チームによる再検温・問診実施

37.5°C以上or
コロナ関連症状あり



37.5°C未満
コロナ関連症状なし



症状の評価

入場可

緊急性あり



救急要請

緊急性なし



帰宅

家族関係者がいる場合には帰宅を促す。

当該発熱・COVID-19感染疑似症者の行動歴をもとにイベントの続行可否を判断

【陽性疑いが出た場合の対応】

■ 対保健所

- ・会場の再検温所では「陽性確定」ができないため、帰宅した居住地の保健所に個人々から必要に応じて連絡をしてもらう。
- ・クラスターレベルが発生した場合は、主催者から保健所へ連絡をする。

■ 対来場者（体調不良者）

- ・後日検査後、陽性確定の場合は必ずイベント事務協側へ申し出るように伝える。

感染対策備品リスト

【関係者配布物】

備品	数量	備考
フェイスシールド	20個	出展社用 + 予備
不織布マスク (個包装)	20個	関係者配布用 (忘れた方)
不織布マスク (個包装なし)	150個	来場者配布用 (忘れた方)
ゴム手袋	200セット	出展社用

【検温所・感染対策チーム所持】

備品	数量	備考
サーマルカメラ (BS-K1TA70MI-T)	2台	
ハンディタイプ非接触型検温機	3台	
場内感染対策注意喚起看板	4枚	
防護服	2着	
除菌シート (100枚入り)	5個	
消毒液ボトル設置テーブル	2台	
飛沫防止パネル	9枚	商談テーブル用
手指消毒液	10L	
消毒液噴霧器	60本	商談テーブル/ビルダー/感染対策ブース
無線	6台	
感染対策スタッフビブス	人数分	



機種名: FLIR E4-XT



感染対策スタッフは左記のビブスを着用



**HANDMADE
BICYCLE 2024**